



# レバノン概観

## 2018年9月中旬まで

項	目次
1	ノート, 用語集とリスク表
2	国内ニュース

### 用語集

IS	イスラム国
INGO	国際非政府組織
UNHCR	国連難民高等弁務官事務所
FPM	自由愛国運動
GDP	国内総生産- 国もしくは地域の経済評価を行い、他の国や地域を比較をすることができる。

この文書はジャパン・プラットフォーム内およびその関係者のみの利用に限ります。この文書は、JPF セキュリティアドバイザーの同意なく、再配布することを禁じます。

以下文書内で“コメント…”とイタリック体で記載され、後述の文章もイタリック体で記載されている場合、筆者の意見を述べており、事実ではないことがあります。  
**免責事項:** この文書の目的は、情報と分析をし、アドバイスを提供することです。ジャパン・プラットフォームは、この文書に基づき、読者がいかなる行動や措置をとった場合でも、責任を負いかねますことご了承ください。

ロケーション	リスクレベル	コメント	フォーキャスト
Beirut, Mount Lebanon (ML) 及び Litani River 北部、南レバノン	低	主要都市で発生する通常の犯罪や売買の脅威に加えて、ベイルートを特徴づける宗教関係や種別分断にまつわる脅威も取り巻いている。状況は早く変わる可能性が高く、武力衝突を起こす可能性のある小規模の武装グループが蔓延している。しかしながら、大きな破綻が起きる前には通常強い予兆が見られる。	新しい政府の樹立は引き続き時間がかかる見込みだ。どの政党も互いに歩み寄りそうにない。
Beirut 近郊、Haret Hraik と Borjal Brajne, Tripoli, Zahle, Baalbek, Litani River の南部、南レバノン	中	ベイルート近郊のエリアはシーア派が顕著でヒズボラに占領されている。Litani River の南はヒズボラのコントロール下にあり、訪問には許可が必要だ。Zahle と Baalbek は犯罪率が高い。Tripoli には急進派分子がおり、犯罪が頻発している。	ヒズボラはレバノンにおいて事実上の政権であり続け、急進的スンニ派とイスラエルに盛んに標的とされ続ける。Tripoli の治安状況を占める指針はなく、Zahle と Baalbek は変わるだろう。
国境沿い5キロ、北部 Baalbeck, 北部 Tripoli, Borjal Brajne と Ain el Helweh パレスチナキャンプ	高	北方エリアの境界と、北 Baalbek は誘拐や違法薬物生産えお含む、非常に悪質な犯罪は発生している。北西部は2017年までの数年間、急進派グループによって占領されている。イスラエルとの南部境界エリアは不安定な状況だ。パレスチナキャンプの情勢は予測できず、Ain el Helwah はとりわけ暴力的だ。	北東部の情勢は改善しており、今後安定すると考えられるため、リスクレベルは今後中に落ちる。全ての国境エリアは引き続きハイリスクで、特にイスラエル国境エリアが危険である。

## 1. 国内と国際ニュース

### 議会選挙

9年ぶり初めて行われた議会選挙から4ヶ月、内閣は未だ組閣されていない。本組閣は首相である Saad Hariri の責任であるが、内閣における政党员構成について未だ合意ができないために実現していない。レバノンの政治システムは、18の異なる派閥を省庁に配分する権力分配制度に基づいている。もっとも、内閣の役職がこの派閥でどのように配置するかが行き詰まりに原因である。このレバノンの確率された政治システムの特徴は、役職が「平等に各政党を代表した」組閣のコンセンサスに至るまでに根回し交渉が行われていることだ。現在、Hariri の未来運動は、5月に行われた選挙で議席を失った影響に苦しみ、Hariri が率いる政党連立外に所属するスニ派指導者を閣僚として入閣させるよう迫られている。反対に、レバノン勢は期待を上回ったことで、Michel Aoun 大統領の自由愛国運動(FPM)からより多くの人を役職につかせるように要求している。本交渉では30名の閣僚ポジションのうち、11名をFPMから擁立するようという要求に対して行き詰まると言われている。本要求は全政府ポリシーによって禁止されているからだ。

コメント: 報道によれば、レバノン経済が深刻な危機に陥った4月に国際コミュニティによって担保に入れられた数十億ドルの融資がリスクに置かれている。

### 経済的状況

レバノンは世界でも最も負債を多く背負っている国の一つで、政府債はGDPの150%を超えている。影響力のある調査会社キャピタルエコノミクスの直近の分析によると、「経常収支の赤字額はGDPの25%を占める。赤字額は非常に大きく、非居住者、主にレバノン系の離散ユダヤ人(ディアスポラ)から地方銀行への資金流入や預金額が大きい。」と述べている。

コメント: ディアスポラに頼った経済は、サウジアラビア政府の更なる干渉を招き、レバノン経済を脆弱にさせる。サウジアラビアは200,000人以上のレバノン人が働いている。サウジのリーダーシップは、レバノンの管理下にあり、イランの支援を受ける軍隊、ヒズボラを理由に、イランとの宗教的・国際的紛争においてレバノンを最前線におく。一年前、サウジアラビア政府は、レバノン首相 Saad Hariri を Riyadh への訪問予定期間に自宅軟禁させ、公的に更迭させることでヒズボラの弱体化を狙ったが、その試みは失敗に終わった。Hariri はその後レバノンに戻り、辞職要求を撤回させた。懸念事項として、(サウジが)レバノン労働者を追放し、レバノンの銀行との取引を停止させるといった脅し行為に出る可能性がある。従って、レバノン政府がヒズボラの政治的、軍事的伸張を抑えなければ、ディアスポラの資産を凍結させ、レバノン物品の禁輸措置を行う可能性があるのだ。



### 犯罪行為と社会不安

国連安全保安局(UNDSS)のデイリーセキュリティ情報レポートは、国内で重大な犯罪、暴力、市民不安が広がっていると継続的に発表している。祝砲、家族もしくは個人的トラブル、軍事侵略や武装強盗など、日常的に射撃行為が発生している。偽造、強盗、薬物に関連した犯罪は頻発している。身体的暴行や殺人事件もまた珍しくはない。毎週パレスチナキャンプでパレスチナグループもしくは反犯罪者一族間での武装衝突が起こっている。時折、誘拐なども発生しており、そのほとんどが犯罪的動機に駆られて行われている。8月にも1件報告されている。

毎週最も多く報告されている事案はデモや抗議活動であり、殆どがベイルートでの発生だが、国内他地域でも発生している。8月のデモ活動では、先生や、タクシー・トラック運転手、ジャーナリスト、契約労働者やローカルコミュニティの人々が水不足の対応について抗議した。

コメント: UNDSS レポートは限られた数の参照元で情報をまとめており、間違いなく過小報告している。程度の重い犯罪&民事紛争が間接的な脅威を表しながら、それは深く分断された国が潜在的な危険を抱えていることを示している。



### 疑わしき IS 民兵の逮捕

2018年8月、レバノンの治安部隊はISの戦闘員と思われる2名を逮捕し、彼らは軍の検問所と国境への攻撃を企てていたことがわかっている。武器や爆発物も徴収された。彼らは近郊シリアにいるIS戦闘員から指示を受ける予定だった。

9月10日、別の関連するIS戦闘員と思われる2名が逮捕され、彼らは首都ベイルートの南方に位置する治安部隊への攻撃を企てていた。報道によれば、彼らは国内IS下部組織に関連していたと思われる。

コメント:治安部隊は、定期的に戦闘員らしき人物の逮捕情報や阻止できた計画について発表している。2017年8月、レバノン軍に北東国境エリアから追い出されたにも関わらず、ISやその他スンニ系イスラム過激派は、レバノンにおいて限られたキャパシティで攻撃を仕掛け続けている。ベイルートが引き続き攻撃対象となっているようだが、シーア派ムスリムが多く居住する町の南郊外を特に狙っているようだ。しかしながら、攻撃は外国人も頻繁に訪れる町の中心で行われるリスクもある。

### 難民の帰還

シリアとレバノン政府は、シリア難民の帰還を調整している。8月初旬、レバノンの公安総局は、帰国を希望するシリア人の申請を受け付ける拠点を17箇所開設したことを発表した。ヒズボラが同様のプログラムを発表した一ヶ月後だった。4月以来、レバノン当局は、3,000人以上の難民から帰国申請があったことを発表している。UNHCRは、これらいずれのプログラムにも関与していないが、2018年1-6月の間、約13,000のシリア人がレバノンから帰国したことも合わせて報告している。

コメント:レバノンは100万人以上のシリア難民を受け入れており、これはレバノンの人口の1/4以上に当たる人数である。また、世界中で最も多くの難民を受け入れている国だ。レバノン政府には難民帰還の社会的・政治的圧力が重くかかっている。しかしながら、国連関連機関、国際援助機関、国際NGOや外交家は、シリア政府が難民の帰還は安全であるという発表に対しては慎重な見方をしている。推定50~60%のレバノンの難民は政権を支持していない。

### イスラエル国境の壁

イスラエルは引き続きレバノンとの北部国境エリアに壁を建設している。イスラエル政府は、ヒズボラから市民を守るために必要だと述べている。この壁の建設によって、複数拠点をレバノンの領土を侵害がされると主張しており、レバノン政府との緊張状態を高めている。イスラエル軍は全ての壁はイスラエル領域内に建設していると主張している。

コメント:ヒズボラは国境について合意をしておらず、レバノンとイスラエルはまだ実質戦争状態にある。



### ハリリ暗殺容疑の法廷

ハーグにある国連支援のレバノン特別法廷(STL)で、元首相 Rafik Hariri と21人をトラック搭載の爆弾で暗殺した罪で起訴された4人の男の論告求刑が行われた。この被告4名は欠席裁判での判決が下されようとしており、ヒズボラと関係がある、ヒズボラはこの裁判を避難し、ヒズボラのリーダー、Hassan Nasrallah は被告4名の引き渡しを拒否、法廷を火にかけると警告した。法的には、現レバノン首相で、Rafik Haririの息子である Saad Hariri が参加している。